

福岡県の経済動向

(数値は2023年4月分の公表値までを参照)

福岡県の景気 | 緩やかな回復基調

福岡県の4月時点での景気については、生産活動は緩やかに回復しているほか、個人消費は回復しています。全体としては、緩やかな回復基調にあります。

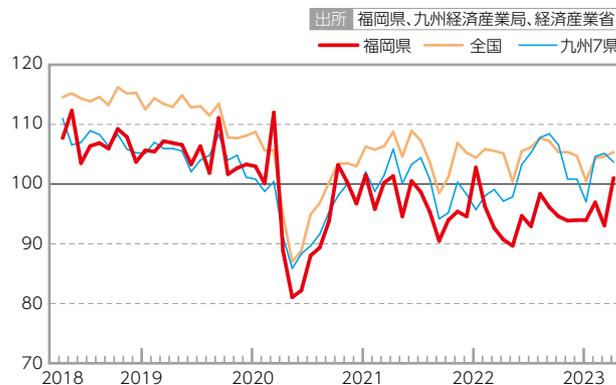
1. 生産活動 | 緩やかに回復している

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月を7.8ポイント上回る101.3となりました。

主要業種では、「鉄鋼」「はん用・生産用機械」「輸送機械」が前月を上回った一方、「食料品・たばこ」は前月を下回りました。

全体としては、緩やかに回復しています。

■福岡県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



2. 個人消費 | 回復している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比10.5%増の約563億円となりました。

また、新車登録台数は、前年同月比18.2%増の12,151台、コンビニエンスストア販売額は、同5.9%増の約444億円となりました。

全体としては、回復しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■福岡県の新車登録台数(前年比)





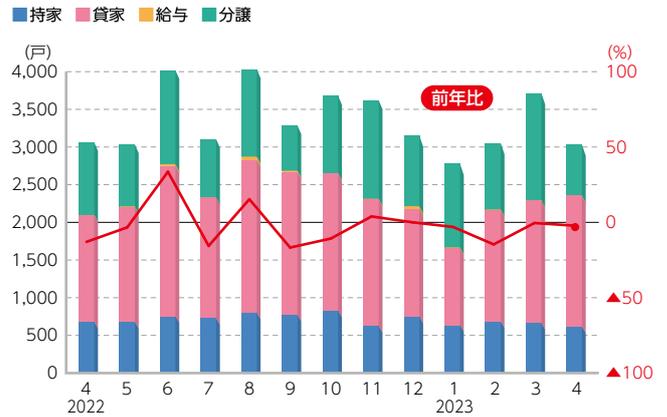
3.住宅建設 | 2カ月振りに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比1.0%減の3,082戸となりました。

項目別では、「貸家」「給与」が前年を上回りましたが、「持家」「分譲」は前年を下回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 4カ月振りに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比12.4%増の約531億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」「市町村」「その他」が前年を上回り、「国」「県」は前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 件数は2カ月振りに前年を上回る

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月10件増の24件、負債総額が同7.0%増の24億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、病院経営、水産物卸などでした。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の経済動向

(数値は2023年4月分の公表値までを参照)

熊本県の景気 | 回復基調

熊本県の4月時点での景気については、生産活動は高水準が続き、個人消費は回復しています。全体としては、回復基調にあります。

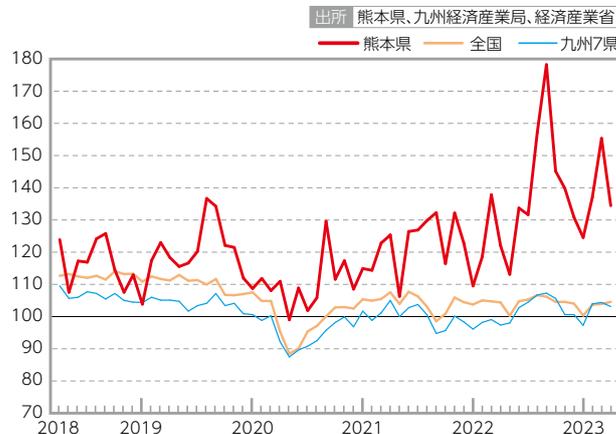
1. 生産活動 | 高水準続く

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比22.3ポイント低下し134.5となりました。

主要業種では、「輸送機械」「食料品・たばこ」は前月を上回りましたが、「はん用・生産用機械」「電子部品・デバイス」は前月を下回りました。

全体としては、高水準が続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



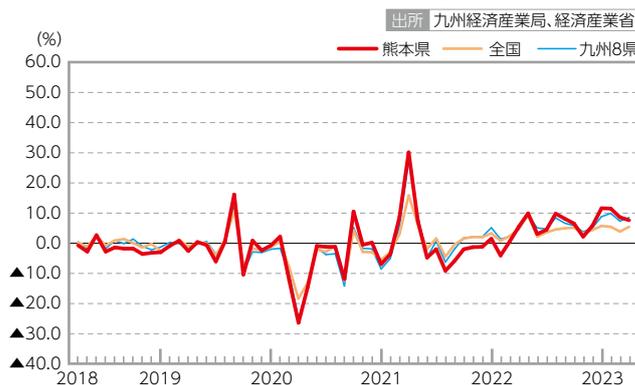
2. 個人消費 | 回復している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比7.4%増の約137億円となりました。

また、新車登録台数は、前年同月比17.2%増の4,539台、コンビニエンスストア販売額は、同6.0%増の約144億円となりました。

全体としては、回復しています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■熊本県の新車登録台数(前年比)





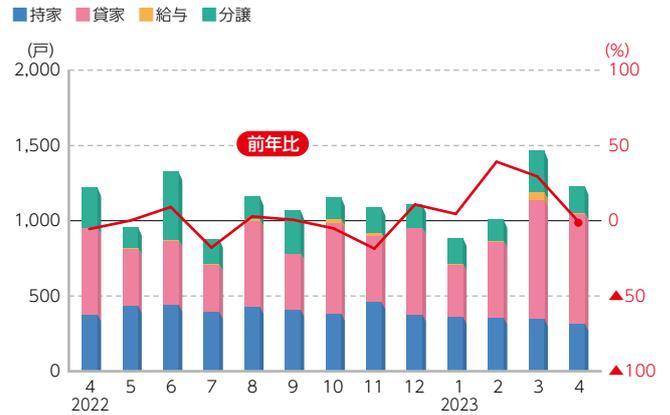
3.住宅建設 | 5カ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比1.5%増の1,251戸となりました。

項目別では、「貸家」「給与」が前年を上回り、「持家」「分譲」は前年を下回りました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 4カ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比11.8%減の約312億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」「その他」が前年を上回り、「国」「県」「市町村」は前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 件数、負債総額とも減少

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比4件減の4件、負債総額は前年比91.2%減の4億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、不動産業でした。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の経済動向

(数値は2023年4月分の公表値までを参照)

長崎県の景気 | 一部に弱さも、緩やかな回復基調

長崎県の4月時点での景気については、生産活動は弱含んでおり、個人消費は回復しています。全体としては、一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調にあります。

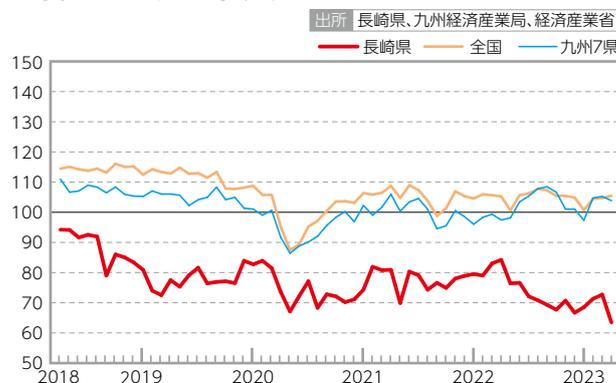
1. 生産活動 | 弱含んでいる

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比9.2ポイント低下し63.6となりました。

主要業種では「輸送機械」が前月を上回りましたが、「はん用・生産用機械」「電子部品・デバイス」「食料品」は前月を下回りました。

全体としては、弱含んでいます。

■長崎県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



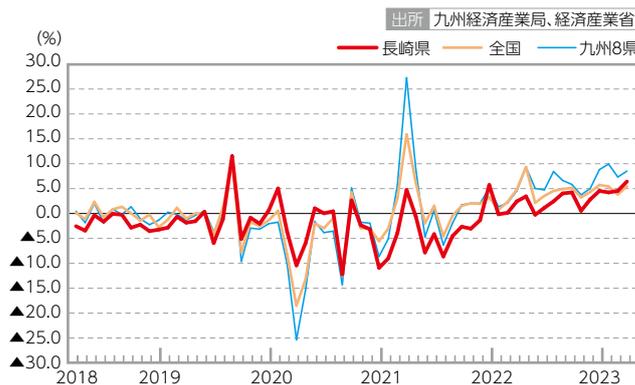
2. 個人消費 | 回復している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比6.2%増の約83億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比14.8%増の2,864台、コンビニエンスストア販売額は、同6.0%増の約95億円となりました。

全体としては、回復しています。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■長崎県の新車登録台数(前年比)

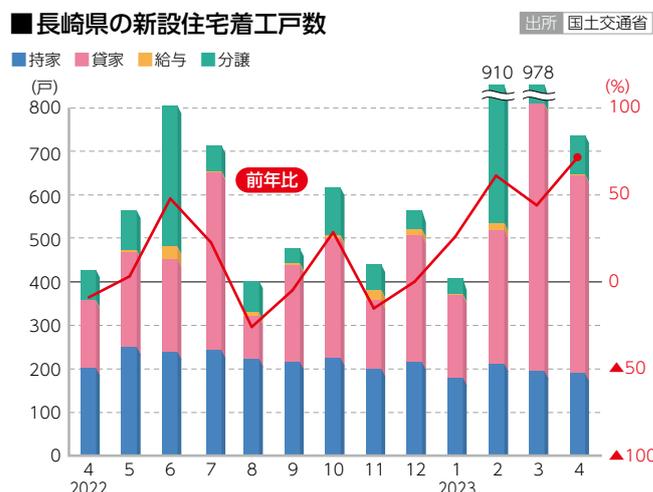




3.住宅建設 | 5カ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比72.4%増の750戸となりました。

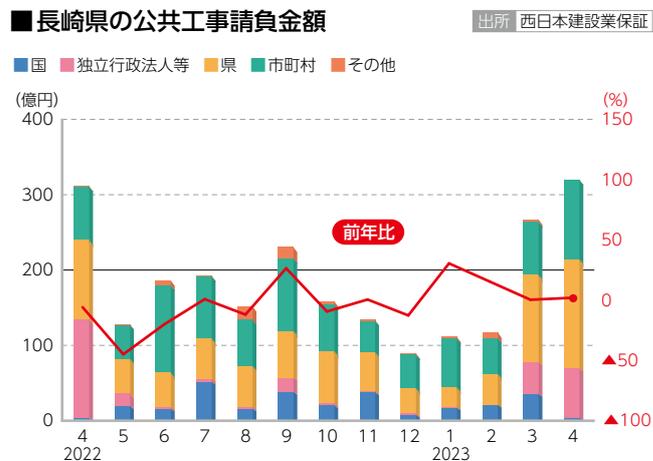
項目別では、「貸家」「分譲」は前年を上回りましたが、「給与」は前年並み、「持家」は前年を下回りました。



4.公共工事 | 4カ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比2.8%増の約326億円となりました。

発注者別では、「県」「市町村」「その他」が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」は前年を下回りました。



5.企業倒産 | 低水準続く

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2件減の3件、負債総額が同72.2%減の3億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、婦人服販売でした。



佐賀県の経済動向

(数値は2023年4月分の公表値までを参照)

佐賀県の景気 | 緩やかな回復基調

佐賀県の4月時点での景気については、生産活動は持ち直しており、個人消費は回復しています。全体としては、緩やかな回復基調にあります。

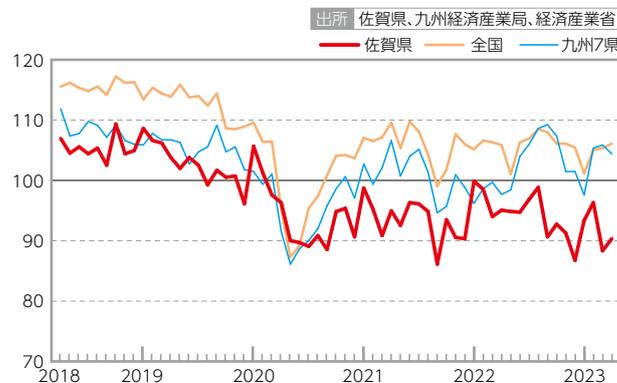
1. 生産活動 | 持ち直している

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比1.9ポイント上回る90.5となりました。

主要業種では、「電気機械」「化学」は前月を上回りましたが、「電子部品・デバイス」「食料品」は前月を下回りました。

全体としては、持ち直しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



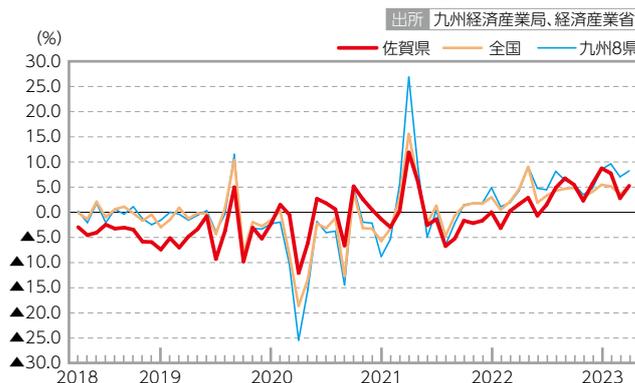
2. 個人消費 | 回復している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比5.3%増の約51億円となりました。

また、新車登録台数は、前年同月比9.9%増の1,850台、コンビニエンスストア販売額は、同6.8%増の約67億円となりました。

全体としては、回復しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■佐賀県の新車登録台数(前年比)





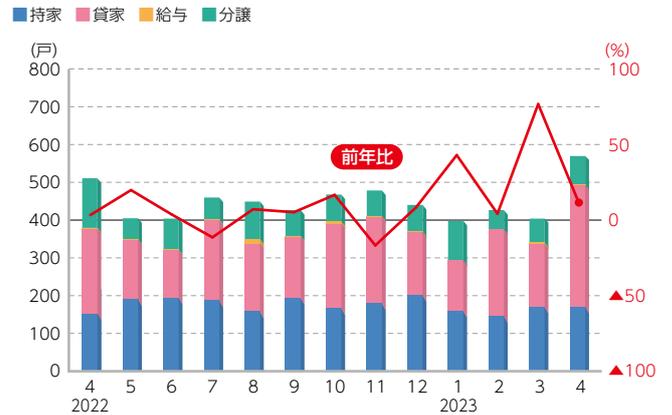
3.住宅建設 | 5カ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は前年同月比11.5%増の581戸となりました。

項目別では、「持家」「貸家」は前年を上回り、「給与」は前年並み、「分譲」は前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 4カ月振りに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比23.5%増の約242億円となりました。

発注者別では、「その他」が大幅に前年を上回りました。また、「市町村」も前年を上回り、「国」「独立行政法人等」「県」は前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



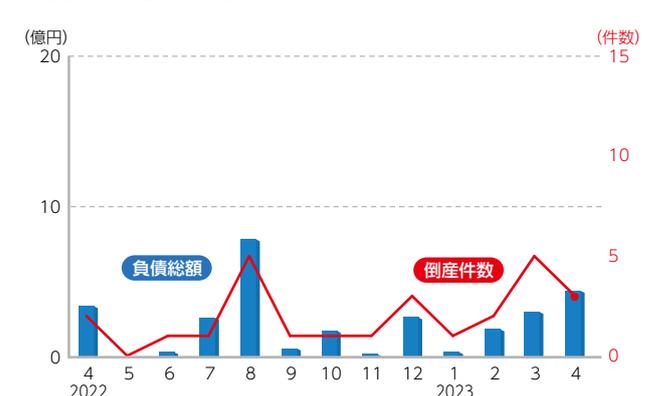
5.企業倒産 | 低水準続く

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比1件増の3件、負債総額は30.1%増の4億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、建築工事、病院経営でした。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の経済動向

(数値は2023年4月分の公表値までを参照)

大分県の景気 | 緩やかな持ち直し基調

大分県の4月時点での景気については、生産活動は持ち直しており、個人消費は回復しています。全体としては、緩やかな持ち直し基調にあります。

1.生産活動 | 持ち直している

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比1.8ポイント上回る96.4となりました。

主要業種では、「はん用・生産用・業務用機械」「電子部品・デバイス」が前月を上回りましたが、「鉄鋼」「化学・石油製品」は前月を下回りました。

全体としては、持ち直しています。

■大分県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



2.個人消費 | 回復している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.7%増の約85億円となりました。

また、新車登録台数は、前年同月比14.4%増の3,036台、コンビニエンスストア販売額は、同7.1%増の約90億円となりました。

全体としては、回復しています。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■大分県の新車登録台数(前年比)





Oita

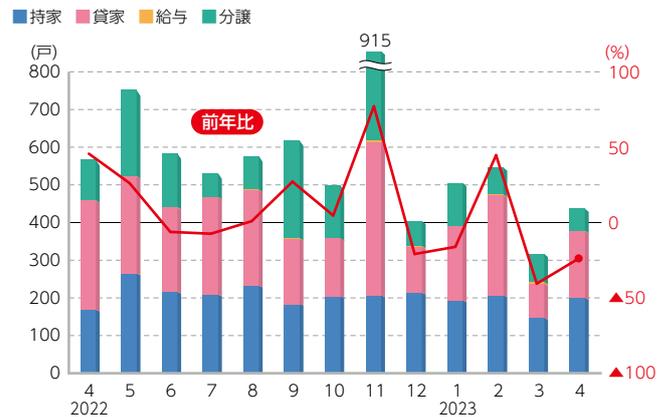
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比22.9%減の444戸となりました。

項目別では、「持家」は前年を上回り、「給与」は前年並み、「貸家」「分譲」は前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 5カ月振りに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比52.7%増の約331億円となりました。

発注者別では、「市町村」が前年を大幅に上回りました。また、「県」「その他」も前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」は前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



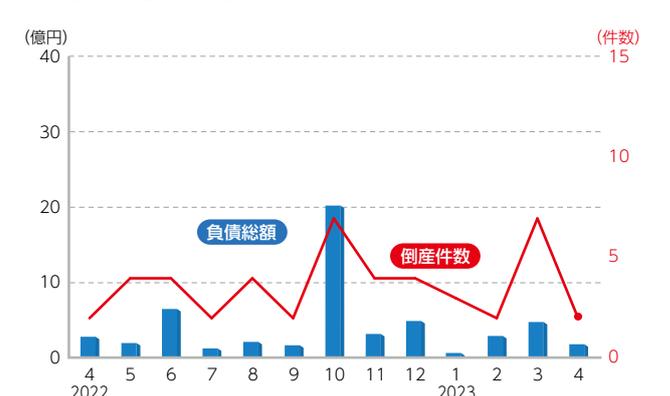
5.企業倒産 | 低水準続く

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同水準の2件、負債総額は同35.2%減の2億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、デイサービス運営でした。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の経済動向

(数値は2023年4月分の公表値までを参照)

宮崎県の景気 | 一部に弱さも、緩やかな回復基調

宮崎県の4月時点での景気については、生産活動は弱含んでおり、個人消費は回復しています。全体としては、緩やかな回復基調にあります。

1. 生産活動 | 弱含んでいる

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比2.0ポイント上昇し86.2となりました。

主要業種では、「電子部品・デバイス」「化学」「電気・情報通信機械」が前月を上回りましたが、「食料品」は前月を下回りました。

全体としては、弱含んでいます。

■宮崎県の鉱工業生産指数(季節調整済、2015年=100)



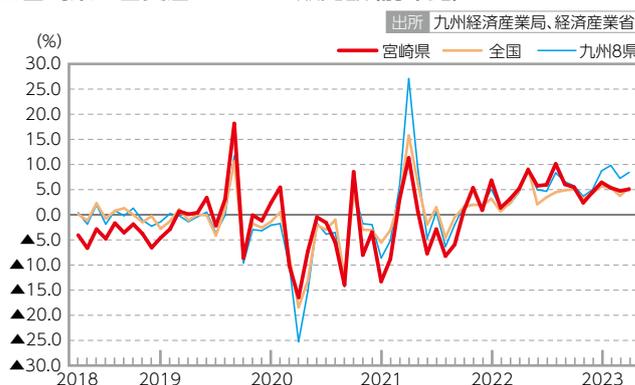
2. 個人消費 | 回復している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.9%増の約58億円となりました。

また、新車登録台数は、前年同月比14.4%増の2,468台、コンビニエンスストア販売額は、6.2%増の約80億円となりました。

全体としては、回復しています。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■宮崎県の新車登録台数(前年比)





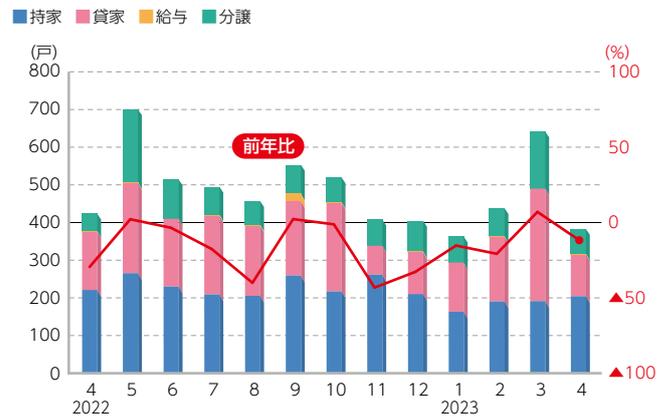
3.住宅建設 | 2カ月振りに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月9.5%減の389戸となりました。

項目別では、「分譲」は前年を上回り、「給与」は前年並み、「持家」「貸家」は前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



4.公共工事 | 2カ月振りに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比11.4%減の約128億円となりました。

発注者別では、「県」「その他」が前年を上回りましたが、「国」「独立行政法人等」「市町村」は前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



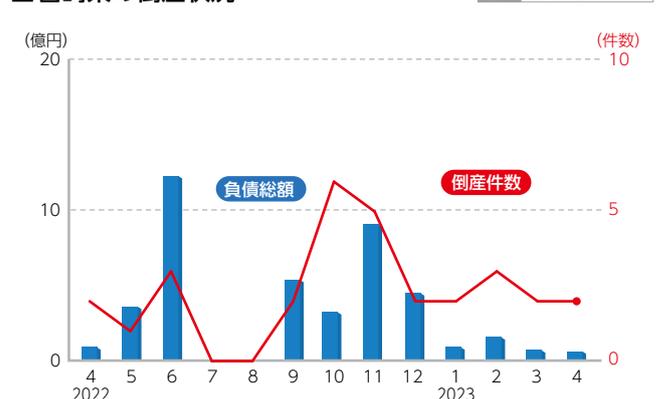
5.企業倒産 | 低水準続く

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は件数が前年同月と同水準の2件、負債総額が同30.3%減の0.6億円となりました。

負債総額1億円以上の企業はありませんでした。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の経済動向

(数値は2023年4月分の公表値までを参照)

鹿児島県の景気 | 緩やかな回復基調

鹿児島県の4月時点での景気については、生産活動は回復しており、個人消費は回復しています。全体としては、緩やかな回復基調にあります。

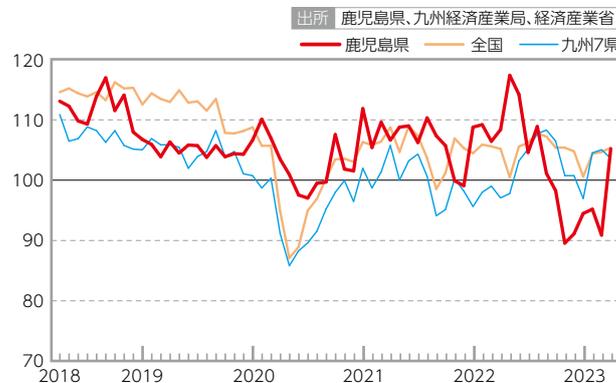
1. 生産活動 | 持ち直している

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比14.0ポイント上回る106.1となりました。

主要業種では、「食料品」が前月を上回りましたが、「電気・情報通信機械」「電子部品・デバイス」「窯業・土石製品」は前月を下回りました。

全体としては、回復しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数(季節調整済, 2015年=100)



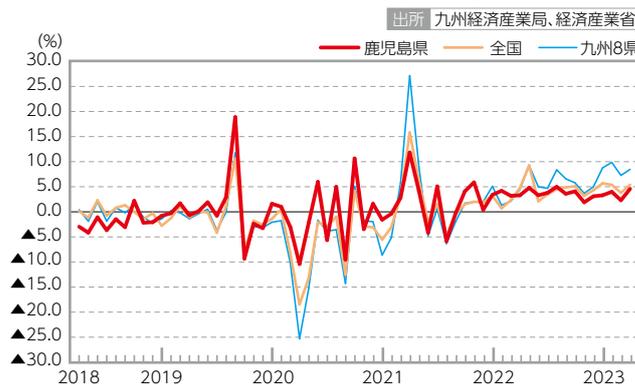
2. 個人消費 | 回復している

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.4%増の約173億円となりました。

また、新車登録台数は前年同月比20.1%増の3,589台、コンビニエンスストア販売額は、6.2%増の約114億円となりました。

全体としては、回復しています。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



■鹿児島県の新車登録台数(前年比) 出所 日本自動車販売協会連合会 全国軽自動車協会連合会





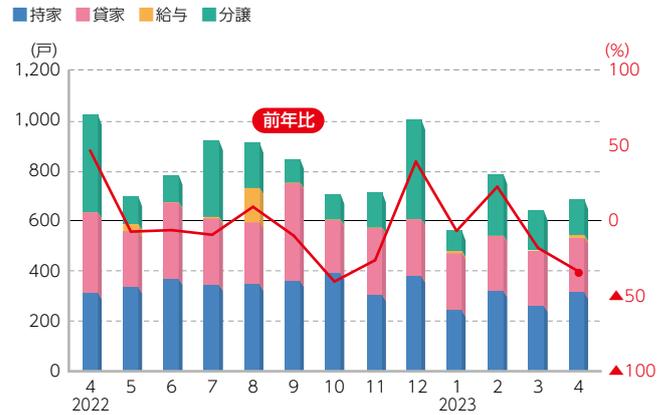
3.住宅建設 | 2カ月連続で前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比32.9%減の697戸となりました。

項目別では、「持家」「給与」は前年を上回りましたが、「貸家」「分譲」は前年を下回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



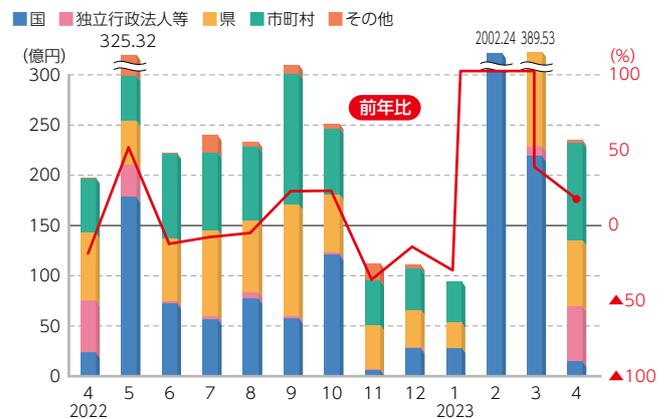
4.公共工事 | 3カ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、請負金額が前年同月比20.0%増の約238億円となりました。

発注者別では、「独立行政法人等」「市町村」「その他」が前年を上回りましたが、「国」「県」は前年を下回りました。

鹿児島県の公共工事請負金額

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 低水準続く

4月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同水準の6件、負債総額が同4.2%減の5億円となりました。

負債総額1億円以上の企業は、菓子製造でした。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

